

みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」授業実践報告書

学校・実施クラス名：多賀城市立天真小学校3年2組

日時：平成26年4月21日(月) 3校時

授業者職・氏名：主幹教諭 千葉 浩一

- 1 教科名 学級活動  
 2 活動名 学校にいるときに地震が起こったら (副読本P22)  
 3 本時の指導

- (1) 本時の指導目標 学校で地震が起こった場合の正しい初期対応を理解する。また、揺れがおさまった後の安全行動を理解する。  
 (2) 本時の評価規準 ①学校で地震が起こった場合の正しい初期対応について理解できたか。  
 ②揺れがおさまった後の安全行動について理解できたか。  
 (発言・ワークシートの記入の様子)

(3) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点 他	<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 準備物
導入 8分	1 授業中に地震が起きたことを想定して、机の下にもぐる。 <u>全体での活動</u>	◇先週の避難訓練を思い出させ、落ち着いてすばやく行動させる。 ◇(P10を振り返らせながら)地震はいつ、どこで起こるか分からないことをおさえる。 ◇学校で地震が起こった場合の危険や正しい初期対応について関心をもたせる。	<input checked="" type="checkbox"/> みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」
展開 3分	2 教室にいたときに地震が起こった場合、どのような危険があるか、そのときどのような行動をとればよいかを考え、話し合う。 <u>個→全体での活動</u>	◇P22「考えてみよう」の図中の地震時の対応について考えさせる。 ・子どもたちの行動やいる場所に注目させ、正しい対応と誤った対応の理由について考えさせる。 ◇揺れを感じたら、必ず頭を守る行動をとることを指導し、実際に行動する。 ◇その他の危険について話し合わせる。 ・教室の中の時計や水槽、テレビなどに注目させる。	<input checked="" type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> ①
3分	3 階段や昇降口、音楽室、校庭などにいるときに地震が起こったら、どのような危険があるか、どのようにして自分の身を守ればよいかを話し合う。 <u>個→全体での活動</u>	◇校内の児童の活動場所を撮影した写真を用いて危険な場所について考えさせる。 ◇揺れがおさまってからの行動の約束について確認させる。(お・は・し・も)	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン テレビ <input type="checkbox"/> ②
まとめ 5分	4 地震が起こったときに、落ち着いて行動するためには、日頃からどのようにしておくことがよいかを話し合う。 <u>班→全体での活動</u>	◇ワークシートにまとめさせる。 ◇避難訓練などをとおし、普段から安全な場所や危険な場所を確認しておくことが大切であることを理解させる。	<input type="checkbox"/> ②
まとめ 5分	5 学習のまとめをする。	◇本日の学習で「分かったこと」「気付いたこと」「思ったこと」を発表させる。	<input type="checkbox"/> ②

- (4) 準備物 教師：みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」、ワークシート、パソコン、テレビ  
 児童：筆記用具

4 授業者の感想：「やって良かったこと」「困ったこと」

- ・展開の3で各校の校舎内の活動場所の写真などがあると思った。
- ・学校のみならず、家庭や外出時に地震が起きた際の初期対応や揺れがおさまってからの安全行動についても考えたり、相談したりする児童が増えてきた。